

## 20240904\_啓発地域ワークショップ 19:00~20:30 啓発社会福祉会館

啓発地域 13 人（保坂会長、寺田会長、石塚さん、床田さん、町会長、民生委員ほか）  
社協・地域包括（小川、木村ほか 4 名）区役所（森川、西村）

南西部地域包括支援センターが主催した町会ワークショップ（6 月 20 日開催）を踏まえて、「こんなものがあつたらいいな」という題目で最も多くの意見があつた「誰でも集まれる場所」について 3 つのテーブルに分かれてのワークショップが行われました。

## 【意見概要】

- ・ 居場所は 1 か所ではなく、点々といろいろな場所にあつたほうがいいが、責任者、管理者、面倒を見る人の問題がある。
- ・ 外国ルーツの人がいるが、多国籍なので共通語として英語を一緒に学ぶのはいかがでしょうか。
- ・ 外国のお料理を習ったり、教えたりするような文化交流や、子どもを中心に関わっていくとうまくいく。
- ・ 高架下のスペースをうまく使って、チョコザップのようにチョコットリハビリやチョコット介護相談など気軽に、身軽に体操や相談ができたらい。
- ・ 町会以外の人参加も OK にし、鍵は会長以外にも何人かの役員が持っている。（成功事例）
- ・ 既存のふれあい喫茶も、メンバーが固定化して若い人や新しい人は入りづらいので、新しい場所も必要。回数も少ない。
- ・ 既存の活動の時間を少し伸ばして、高齢者の後に子どもを呼んだり、活動を変化させて夏休みの期間は食サに子どもたちを招くなど工夫できる。
- ・ 会館で集まるのが難しいのなら商店ではどうか。紙コップとお茶を用意すればいつでも飲める。しかし、管理は店主にしてもらわないといけない。
- ・ 上新庄地域では、関西スーパー内にあるマクドナルドが朝、高齢者の居場所になっている。100 円でコーヒーが飲める。しかし、そういうお店が啓発地域にはない。
- ・ 阪急崇禅寺駅前にある喫茶店は高齢者がよく利用している。店主に客（高齢者）に何かあれば民生委員に知らせるようお願いしている。
- ・ 他地域では移動スーパーを行っている。啓発地域でも始めることはできないか。
- ・ 啓発地域には東部はともしび福祉会、西部はザイオン新大阪という福祉施設があるので、福祉施設を開放してもらい、誰でも集まれる場所にできないか。（←実現に向けて検討）

この集会は月 1 回のペースで開催の方向で、地域の会議に提案されるようです。今後も部会員の石塚さん、床田さんと、可能であればコンサル（五星）の参加について提案してご了解いただきました。